

いつまでもキレイでいる為に

素敵な口元に

美しく再生する秘訣

白く輝く歯に審美歯科が導きます。

ナガオカデンタルクリニック 院長
歯学博士 渥美 元康



はじめに

「素敵なお口に美しく再生する秘訣」へようこそ。

私は、審美歯科の分野で長年の経験を持つ歯学博士、渥美元康です。

日々、患者さんの笑顔をより輝かせるため、最前線で治療に取り組んでいます。

現代社会では、明るい笑顔は人々の気持ちを明るくし、

記憶に残る大切な要素となります。

しかし、歯の詰め物が黒くなってしまった

白い被せ物のフチが黒ずんで見える

前歯の人工的な茶色い変色

奥歯が銀色で統一されている、などの問題に直面している方は少なくありません。

これらは、保険適用内での治療が原因で起こりうる現象です。

私たちが普段、保険適用の治療に頼る理由は、

歯科治療に関する知識が限られているからかもしれません。

特に地方では、審美歯科治療の選択肢が限られ、

多くの場合、流れ作業のような治療が行われがちです。

しかし、私は皆さんに知っていただきたい。

もっと良い選択肢があることを。

私たちが目指すのは、単に虫歯を治療することではなく、

天然の歯に最も近い、自然で美しい笑顔を取り戻すことです。

この小冊子を通じて、審美歯科治療の可能性について深く掘り下げていきます。

情報過多で分かりにくいとされる審美歯科の世界を、わかりやすく、そして具体的に解説していきたいと思います。

歯科治療が日常生活から離れた専門的なものであることは理解していますが、正しい知識を持つことで、自分に適した選択ができるようになります。

私が皆さんの疑問を解消し、理想の笑顔へと導くお手伝いをさせていただきます。

理想の笑顔を目指す旅は、ここから始まります。

この小冊子が、皆さんが求める審美歯科治療への第一歩となり、自信を持って輝く笑顔を取り戻すための道しるべとなることを願っています。

最後まで一緒に、この旅を進めていきましょう。

歯学博士 渥美元康が、皆さん一人ひとりの輝く未来のために、心を込めてサポートいたします。



第1章 「ロ元にコンプレックスを持った時」

私は、大学卒業後の2年間は、東京都八王子市で最も患者さんが多いといわれている開業医に勤めました。

同期の大学の研修医が1日2人〜3人の患者さんの治療をしている頃、私は子供からお年寄りまで幅広く1日30〜40人の患者さんの治療をしていました。手先が器用な事もあり、

一般歯科で行われている治療、いわゆる保険診療で行える治療は、この期間でマスターする事が出来ました。

そんな中、いつも不安に思っている事がありました。

前歯の白い詰め物や被せ物が2〜3年たつと変色してくるのです。

特にタバコを吸う人や、お茶やコーヒーを好んで飲む人は、ヤニや茶シブが、がっつり着いてしまい歯ブラシだけでは、取れなくなってしまうのです。

20歳のOLが、毎日のティータイムを楽しむだけで、笑うと茶色い歯が見えるようになるのです。

保険で作ったプラスチック製の白い詰め物や被せ物を着けた時は、白く輝いていたのに、時間が経つとプラスチックは吸水性があるので、変色し異臭を放つのです。

これは、プラスチック製のタッパウエアにカレーを入れると変色し、臭いが残るのと一緒に現象が起きているのです。

当時私は、大学で習った保険治療を何の迷いもなく行っていました。患者さんの希望を尋ねる事なく、

虫歯になったら前歯はプラスチック製の白い詰め物や被せ物を被せる治療をしていました。

また、奥歯は保険がきく被せ物は銀色の物しかない為、躊躇なく被せていました。

しかし、笑う時に目立つのです。

被せ物は12%金銀パラジウム合金を使用しているのですが、時間が経つと黒く腐食してくるのです。

これは、元々ゴールドを使用して治すべき所を、
保険制度を広く普及させる為に代わりの金属として、
安価な合金を使用したと云われています。

私は間違った事をしていたではありません。
その時は、全ての人が保険治療を望んでいると思っていたのです。

保険で行う一般治療が一通り出来るようになってから、
審美治療を勉強する為、日本で1番選択眼の厳しい東京都港区で働く事に決め、
1999年より、日本の歯科医療を牽引するドクターが多く参加する
1年間のレギュラーコースの講習会を受講し、
審美歯科とインプラントの勉強をしました。

2001年に当院を開業し、

2005年に審美歯科のマスターコースを受講しました。

この講習会は、御自分で講習会を開いている歯科医師も参加する程、レベルの高いものでした。

この経験を通じて、私は多くの尊敬する師から知識を吸収し、同じ志を持つ仲間と情報交換を行う機会を得ました。

そして、得た知識と技術で患者さんの生活をより豊かにすることができると確信しました。

私たちの口元は、日々のコミュニケーションにおいて非常に重要な役割を果たします。

笑顔1つで人の心を明るくすることができますし、自信を持って笑えることは、人生において大きな力となります。しかし、口元にコンプレックスを持っていると、その力を十分に発揮することが難しくなります。

あなたが毎日の生活の中で自然に笑顔を共有できることは、私たちにとって大きな喜びです。

そして、その第1歩を、審美歯科治療を通じて一緒に歩んでいくことを心から願っています。

それでは、具体的に審美歯科治療についてお話を進めていきます。

第2章 「審美歯科治療に対する思い」

審美歯科治療とは、単にセラミック冠を被せるというだけではありません。それは、あなたが自信を持って生き生きと毎日を過ごせるようにするための、大切な1歩です。

この治療には、セラミックの被せ物で歯を美しく見せること以外に、失われた歯の代わりにインプラントを用いて自然な見た目を再現すること、出っ歯を矯正してバランスの取れた口元を実現すること、そして自分の歯をホワイトニングで一層輝かせることなど、多岐にわたる方法が含まれます。

口元のトータルビューティーをプロデュースし、実現する一大プロジェクトになります。

なぜ審美歯科治療にこれほどまでに情熱を注ぐのかというと、

それは皆さんの生活の質を高め、もっと自分自身を愛せるようになるためです。

普通の歯科治療が「治す」ことに焦点を当てているのに対し、

審美歯科治療は「美しくする」ことに重点を置いています。

そして、これは保険診療の枠を超えた、

患者さん1人ひとりに合わせたオーダーメイドの治療を意味します。

審美歯科治療の大きな特徴は、歯科医師が治療方法を自由に選択できることです。

これにより、私たちは患者さんのニーズや希望、予算、そして美しさへの追求を

最優先に考え、最適な治療計画を提案できます。

患者さんと密接に協力し、その人らしい美しい笑顔を実現するための治療を行います。

私自身が親や家族に施したいと思う「理想の治療」を、すべての患者さんに提供することができるのは、審美歯科治療のもたらす最大の喜びです。

あなたの笑顔が、あなた自身の人生においても、

周囲の人々にとっても、明るい光を放つようになることを願っています。

審美歯科治療への私の深い思いは、

ただ単に技術を提供すること以上のものです。

それは、皆さんが毎日をより豊かに、

自信を持って過ごせるようになるためのサポートをすることに他なりません。

私たちは、あなたの理想とする笑顔を実現する旅の途中で、

最高のパートナーでありたいと思っています。

第3章 「誰もが夢見る輝く白い歯」

輝く白い歯は、世界中で美の象徴とされています。

自信満々に笑うことは、あなた自身の幸せだけでなく、

周囲にもポジティブな影響を与えます。

しかし、歯の色や形にコンプレックスを持つ方々がいるのも事実です。

審美歯科治療は、そんなあなたの悩みを解消し、

理想の笑顔を手に入れるための手段です。

世界は急速にグローバル化しており、見た目に対する価値観も日々変化しています。かつては個性の象徴とされた八重歯も、国際社会では否定的に見られることがあります。

日本のファッションや美意識は世界から高く評価されていますが、
□元の印象で評価が変わることも少なくありません。

東京をはじめとする都市部では、

歯の美しさを追求する文化が根付きつつあります。

ホワイトニングやセラミック治療など、

美しい笑顔を手に入れるための方法は多岐にわたります。

審美歯科治療の選択は、単に美しさを求めるだけでなく、

自己表現の一形態とも言えます。

銀の詰め物や被せ物が一般的な日本とは異なり、

国際社会ではメタルフリーの治療が主流です。

これは、美しさだけでなく、健康への配慮からも選ばれています。

「セラミックの歯は高価」との認識がありますが、

その背景には、専門的な知識と技術が必要であることがあります。

審美歯科治療は、ただ単に材質を変えるだけでなく、

患者さん1人ひとりに合わせた細やかな配慮と技術が求められます。

歯科医師と歯科技工士が密に連携し、最適な治療を提供することで、理想の笑顔を実現します。

審美歯科治療を始めるにあたり、

私たちは患者さんと共に精度の高い治療を追求していきます。

これは、何年にもわたる学びと経験の積み重ねがあつてこそ可能なことです。
私たちの目指すのは、単なる治療の提供ではなく、
患者様の人生を豊かにする美しい笑顔へのお手伝いです。

あなたが自信を持って笑える日が来ることを心から願っています。
そして、そのために、安心して任せられる治療を
これからも提供し続けたいと思います。

審美歯科治療は、特別な技術と知識を必要としますが、
私たちはそのすべてを備え、あなたの理想を叶える準備ができています。

第4章 「よくある質問について」

(質問①)

「前歯は何を被せれば良いのですか？」

(答え)

前歯をキレイに見せたいとき、いくつかの選択肢があります。どの方法を選ぶかは、歯の現在の状態やご希望によります。

ここで、二つの代表的な対策をご紹介します。

ラミネートベニア

歯の表面が不均一であったり、小さくて見栄えがしない場合に適しています。

この方法では、歯の表面を薄く削り、

その上にセラミック製の薄い板（ベニア）を貼り付けます。

このベニアは自然な歯のように見え、変色しにくい素材でできています。

レジンの詰め物が目立つ場合や、元々小さい歯を美しく見せたい場合に最適です。

オールセラミックの被せ物

歯にレジンの詰め物が多くある場合や、神経を取った後の歯には、

オールセラミックの被せ物がお勧めです。

金属を使用しないため、金属アレルギーの心配がなく、

見た目も自然な美しさを実現できます。

さらに、歯とのつなぎ目が変色したり黒くなる心配が少ないので、長期的に美しい口元を保つことができます。

どちらの方法も、天然の歯に近い見た目を再現することが可能で、美しい笑顔を取り戻すことができます。

ご自身の歯の状態や、求める結果に応じて、最適な選択をすることが大切です。

不明な点があれば、歯科医師と相談し、一緒に最良の解決策を見つけましょう。

(質問②)

「小臼歯（真ん中の歯）は何を被せれば良いのですか？」

(答え)

小臼歯（真ん中の歯）の治療には、強度と美しさを兼ね備えた詰め物や被せ物を選ぶことが重要です。ここで二つのオプションをご紹介します。

オールセラミックの被せ物

自然な歯に非常に近い見た目を実現することができ、美しい口元を求める場合には最適です。

しかし、多くの歯を治療する場合、
予算の面で心配な方もいるかもしれません。

ホワイトジルコニアの被せ物

オールセラミックに比べてコストパフォーマンスが良く、
強度も高いため、小臼歯のような噛む力が強くなる部分に適しています。

ホワイトジルコニアはセラミックの一種で、
ブロックから削り出して作られます。

欠点としては、色の再現性に限界があり、
前歯などの目立つ部分には向いていませんが、
強度が必要な小臼歯には良い選択肢となります。

つまり、美しさと自然さを最優先する場合はオールセラミックを、強度と予算を考慮する場合はホワイトジルコニアを選択することがおススメです。どちらもそれぞれのメリットとデメリットがありますので、ご自身のニーズに合わせて選ぶことが大切です。



(質問③)

「大臼歯（奥歯）は何を被せれば良いのですか？」

(答え)

奥歯（大臼歯）の治療では、噛む力に耐えうる強度のある詰め物や被せ物を選ぶことが大切です。ここで、いくつかの選択肢とそれぞれの特徴をご紹介します。

オールセラミック

美しさと自然な見た目を求める場合におすすめです。

しかし、複数の歯を治療する際には、

コストと強度の問題でおススメしない場合があります。

ホワイトジルコニア

オールセラミックに比べて費用対効果が高く、

強度もあります。このため、噛む力が強い奥歯の治療に適しています。

ただし、色の再現性には限界があるため、

見た目の自然さを最優先する場合には向いていません。

メタルセラミッククラウン

金属の裏打ちがあり、噛む力に強いので、特に噛む力が強い人に適しています。

金属とセラミックの組み合わせにより、強度と見た目の良さを両立させています。主にインプラントの被せ物に使用されます。

ゴールドクラウン

歯ぎしりやくいしばりがある人、

または力仕事やスポーツをされる方には特におすすめです。

ゴールドは伸びやかで、歯にかかる強い力を吸収し、変形しながらもお口の中に良く馴染みます。

さらに、虫歯になりにくいというメリットもあります。

奥歯の治療にはこれらのオプションから、

ご自身のライフスタイルや予算、美しさへのこだわりに合わせて最適なものを選択することが重要です。

また、歯ぎしりや食いしばりなど悪習癖がある場合は治療法が制限される場合があります。

(質問④)

治療する順番はありますか？

(答え)

治療の順番は、ご希望に応じて異なります。

ここで、いくつかの一般的なシナリオを分かりやすく説明します。

ホワイトニングと白い被せ物を希望する場合

最初にホワイトニングを行い、歯を白くします。

その後、ホワイトニングで得られた白さに合わせて、白い被せ物を適用します。

これにより、全体の色が統一され、自然な美しさを実現できます。

ホワイトニングと矯正治療を希望する場合

まず歯列矯正で歯並びを整え、歯間の隙間や重なりを解消します。

その後、均一な歯並びになったところでホワイトニングを行います。

これにより、ホワイトニング剤が歯全体に均等に作用し、

より効果的な美白が期待できます。

ホワイトニング、矯正治療、そして被せ物の治療を希望する場合

この場合は、先に矯正治療を行い、歯並びを整えます。

続いてホワイトニングで歯を白くした後、

最終的に白くなった歯に合わせて被せ物をします。

この順序で治療を進めることで、最終的に整った白い歯を得ることができます。

インプラント治療と他の治療を組み合わせたい場合

インプラント治療は手術が必要のため、その時期は症例によって異なります。インプラントの前後でホワイトニングや矯正、被せ物の治療を行う順序は、症例に応じて最適なタイミングが決定されます。

虫歯の治療のタイミング

審美治療を始める前に、虫歯がある場合はまずそれを治療します。

痛みがある場合は、痛みを取り除く処置が最優先され、必要に応じて仮歯に置き換えられます。

これにより、美しい最終結果を得るための土台が整います。

ご希望の治療に応じて、これらのステップを踏むことで、健康で美しい口元を実現できます。

どの治療をいつ行うかについては、ご自身の状態や目指す目標に基づいて、
歯科医師と一緒に計画を立てることが大切です。

ご質問や不明点があれば、いつでもお気軽にお尋ねください。

（質問⑤）

入れ歯のバネが見えるのが気になるのですが、他の方法はありませんか？

（答え）

入れ歯のバネが見えることに関してご不安をお持ちであれば、

その解決策はいくつかございます。

どの選択肢も、ご自身の状況やニーズに合わせて選ぶことができます。

固定式ブリッジ

支える歯が残っている場合、固定式のブリッジにすることで、入れ歯を使用せずに済みます。

これは、欠損部分を隣接する健康な歯を使って埋める治療法です。

セラミック ブリッジは自然な見た目で、日常生活での快適さを提供します。

インプラント

歯がない場合には、インプラントが適しています。

これは、顎の骨に直接チタン製のネジを埋め込み、

その上に人工の歯を取り付ける方法です。

自分の歯のように噛むことができ、非常に自然な見た目と機能を提供します。

ただし、コストが高くなる可能性がある点にご留意ください。

ノンクラスプデンチャー

インプラントが適さない、または予算の都合上選択できない場合は、ノンクラスプデンチャーが良い選択肢になります。

これは金属のバネを使用せず、

入れ歯のピンク色の部分で安定させるタイプの部分入れ歯です。

見た目が自然で、比較的安価に多数の歯を補うことができます。

ただし、時間が経つとフィット感が変わるため、

数年に一度、新しいものを作成する必要があります。

これらのオプションは、見た目の美しさ、機能性、コストの観点からそれぞれメリットとデメリットがあります。

ご自身の状況や希望に合わせて、最適な方法を選ぶことが重要です。

どの方法がご自分に合っているか不明な場合は、歯科医師と相談して決定します。

（質問⑥）

歯を抜いてしまったのですが、元のように戻りますか？

（答え）

歯を抜いた後でも、幾つかの方法で元のような見た目と機能を取り戻すことが可能です。

主に、「ブリッジ」と「インプラント」の2つの方法があります。

ブリッジ

ブリッジは、抜けた歯の部分に新しい歯を「架ける」治療法です。

これは、抜けた歯の両隣にある健康な歯を支えとして使い、

その間に人工の歯を固定します。

セラミック材料を使用することで、自然な見た目に仕上げることで、元のような美しさを再現することが可能です。

ただし、この方法では、支えになる隣の歯を少し削る必要があります。

インプラント

インプラントは、抜けた歯の根元に代わるものとして、

チタン製のネジを顎の骨に埋め込み、

その上にセラミック製の冠（人工の歯）を取り付ける方法です。

インプラントは自分の歯のように使用でき、非常に自然な見た目と機能を提供します。

特に、多くの歯がない場合でも、複数本のインプラントを使って、

取り外しの必要がない固定式の歯を作ることができます。

比較と選択

ブリッジは、隣接する健康な歯を利用できる場合に適していますが、その健康な歯を削る必要があります。

インプラントは、より自然で長期的な解決策を提供しますが、コストが高く、手術が必要です。

どちらの治療法を選択するかは、患者さんの健康状態、残っている歯の状態、そして予算によって異なります。

最適な選択をするためには、歯科医師との相談が重要です。

歯科医師は、あなたの状況を評価し、最も適切な治療計画を提案します。

第5章 「一〇代でボロボロの前歯を持つ私。」

でもセラミックにして

見違えるように…」

私の口は、上の真ん中の二本の前歯は飛び出っていて、横の二本の歯は内に入り込んで、犬歯は外に出ている歯並びでした。

わかりやすく言うとうさぎの歯に八重歯が二本と云うところでしょうか。

中学生の頃、バスケットをやっていて人とぶつかって、

出ているうさぎの歯の一本は死んでしまって黒く変色しています。

前歯2本のせいで、私のあだ名はオセロです。

この頃から人前で口を開けるのが嫌になりました。

うさぎの横の歯は中に引っ込んで磨きにくいので、

虫歯になってプラスチックの詰め替えを何度かしています。

その都度ツギハギ状態になって、その結び目が黒く線状に変色していくのでした。

「友達からは、毎日歯を磨いているの？」と聞かれ

ショックで1日泣いたのを今でも覚えています。

高校生になって見かねた母親が「前歯を差し歯にしてもらえば」と云う事で、

4本神経を抜いて6本保険の歯で被せたのですが、悪夢の始まりはここからでした。

最初キレイだった被せ物が、2年経つと磨いても磨いても

茶色く変色してきたのです。

歯と歯ぐきの間は黒いラインが見えて、歯と被せ物のサイズが合っていないのか、

段差が出来ていて、そこに物がつまるのです。

ちょっと気を抜くとネギやほうれん草とかがはさまるのです。

事件はさらに1年後に起きました。

うさぎの歯の1本が腫れてしまったのです。

人生でこれほど顔が腫れた事はありません。

ゴリラのように唇まで膨れてしまったのです。

原因は、歯が割れてしまった事です。

神経を抜くと歯が弱くなるそうで、結局抜歯になるとのことでした。

ブリッジと入れ歯を勧められて家路につきました。

もうこの歯医者では、無理があると思いインターネットで色々調べました。

でも、調べれば調べる程、逆に訳がわからなくなり、結局近所のお姉さんが

良いと言っていたナガオカデンタルクリニックに行くことになりました。

渥美先生が審美歯科の話をされて、抜く場所は私が若い事もあり

ブリッジとインプラントの話をしてくれました。

お母さんと相談の結果、前歯の6本全てをセラミックで被せ、

歯のない所はブリッジにする事にしました。

審美治療をやるには、治療のゴール設定と治療の順番が大切だと云う説明を受けました。

従来通りの悪いところから順番に1本ずつ治療をすると結果、ツギハギの治療になって、前歯の審美治療には向かないという事でした。

割れたうさぎの歯を抜いて、仮歯にして神経の消毒をしながら、下の自分の歯をホワイトニングで白くして、その白い下の歯の色にあわせて上の6本のセラミックの歯を作ってもらいました。

時間がかかったのですが、出来上がって鏡を見た時には、

その仕上がり嬉しくなって思わずニヤけてしまいました。

周りの歯とも不自然なく馴染んでいてとても満足しています。

抜いた歯の所も、いかにも自分の歯が生えているようにみせる為、特別なテクニックを使ってくれたそうです。

今では、歯に対するコンプレックスも無くなり、
歯の事を気にせず話したり笑ったり出来るようになりました。
ありがとうございました。

この方のように、前歯をキレイにしただけで、
毎日がほんのちよつと以前より楽しくなった人が、たくさんいらっしゃいます。
笑顔にキレイな口元は必須条件です。

どちらが欠けていても満点スマイルにはならないのです。

あなたも美しい口元で幸せな毎日を過ごしませんか？

笑顔は幸せのバロメーターです。

みんなが笑えば何気ない毎日が輝いて見えます。

白く美しい歯で幸せをつかみましょう。

おわりに

最後までこの小冊子をお読みいただきまして、ありがとうございます。

審美歯科に対する私の考えや実際の審美歯科治療についてご理解頂けたでしょうか。

かつての私は、虫歯になった時、保険治療するのが当たり前だと思っていました。

それは、今この小冊子を手に行っているあなたと同じでしょう。

でも、保険診療は噛める事を目的に行う治療のみに適応され、

見た目を良くする審美治療や予防には適応されないルールになっています。

この為、ルールに則って機能重視の保険診療を行っていたのですが、

機能は当然で見た目を重視する患者さんも多く存在します。

話す時、笑う時、食事をする時、歯の美しさで人に与える印象は随分変わります。最近、肌や髪の毛と同様に、歯への美しさを求める人も増えていきます。

「歯を治療する」から「歯を美しくする」といった、口元の美を追求する為に歯科医院に来院される方も多くいらっしゃいます。

そんな皆さんの要望に応えられるよう日々医療の進歩に向き合い頑張っていけたら素晴らしいと思います。

歯科医師の仕事は、単に歯を治療することだけではありません。

皆さんのお口の健康を守り、その快適さを通じて、毎日がより豊かになるよう努めることです。

私がお手伝いできる時間は短いかもしれませんが、

私の治療した歯が長くあなたの生活の質を高めることを願っています。

審美歯科治療を通じて、噛むことの喜びから始まり、

毎日の生活がより快適になることへとつながる。

それが私の夢です。

あなたの笑顔がより輝き、心からの満足と幸福を感じられるよう、

私はこれからも全力を尽くします。

あなたの美しい笑顔が、毎日をもっと輝かせますように。

皆さんの口元の美しさを追求する旅に、引き続きお付き合いください。

多くの人に美しい笑顔を届けたい

歯学博士 渥美元康

矯正担当医より

私は、1999年よりDr 渥美が手掛けている審美歯科治療の患者さんの歯列矯正を担当してきました。

矯正専門医になってから歯並びのみを治す事が当たり前だったのが、Dr 渥美と一緒に審美歯科治療に携わるようになってから、美を追求する奥深さに触れる事になりました。

歯並びが良くなっても前歯に汚い被せ物が入ったままでは、真にキレイになった事にはならず、患者さんは納得しない事も経験しました。矯正治療をスタートする前から被せ物を含むトータルで、

口元の美しさを考えるようになりました。

普通の矯正医では経験出来ない事です。

今後も更なる治療技術の向上の為に、Dr 渥美と共に切磋琢磨し、皆さんの口元の美しさの追求に貢献出来ればこれ以上の喜びはありません。

多くの人に美しい歯並びを与えたい

矯正担当医 山田幸司



審美歯科相談会参加へのお誘い

「審美歯科治療で新しい生活を始めませんか？」

私たちは、あなたが持つ全ての質問に答え、不安を解消するためにここにいます。治療に対する細かな疑問から、治療方法に関する具体的な情報まで、あなたの知りたいこと全てにお答えします。

私たちの審美歯科相談会は、あなたが抱える疑問や不安を解消し、安心して治療を進められるようサポートする場です。

私たちと共に、あなた自身の生活の質を高める最初の一步を踏み出しましょう。

ここから始まる旅は、あなたの人生にとって新たなステップになるでしょう。どうぞ、躊躇せずに私たちの審美歯科相談会に参加してください。

あなたの人生に再び笑顔と食の喜びを取り戻すための、大切な一步を、私たちと一緒に踏み出しましょう。

私たちは、あなたの夢を実現するために、全力でサポートします。

ご興味を持たれた方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。
あなたからのご連絡を心よりお待ちしております。

ナガオカデンタルクリニック

電話 055 - 947 - 4545

【 歯学博士 渥美 元康 ・ スタッフ一同 】

プロフィール

歯学博士 渥美元康の経歴と資格
教育背景

・ 北海道医療大学卒業

・ 奥羽大学大学院卒業

・ 長崎大学病院 □腔・顎・顔面インプラントセンター所属登録医

資格

・ 歯科医師

・ 歯学博士

・ A A I D アメリカ □ 腔 インプラント学会専門医 (Associate fellow)

・ I D I A 歯科インプラント学会認定医専門医指導医 (Diplomate)

・ 日本顎咬合学会認定医



- 日本歯科麻酔学会認定登録医
- 厚生労働省認定臨床研修指導医
- アメリカ心臓協会BLSヘルスケアプロバイダー

受講講習・セミナー！

- A A I Dアメリカ口腔インプラント学会300時間コース終了。
- A A I D認定講習会2024年までに596.75時間参加
- 日本口腔インプラント学会100時間コース終了
- S J C Dレギュラーコース・マスターコース終了（審美歯科講習会）
- 2009年 グラム インプラントセミナー
- 2011年 ハワイ ハワイ大学インプラント・解剖学セミナー
- 2013年 イタリア 元インプラント学会会長インプラントセミナー
- 2014年 ラスベガス カール・ミッシュインプラントセミナー
- 2015年 ハワイ I D I Aインプラント学会

- 2015年 ドミニカ共和国 I D A インプラント学会
- 2016年 釜山 インプラントセミナー
- 2017年 ハワイ I D A インプラント学会
- 2017年 シカゴ A A I D 専門医試験
- 2017年 サンディエゴ A A I D 専門医試験合格表彰式
- 2017年 ドミニカ共和国 I D A インプラント学会
- 2018年 ダラス A A I D アメリカインプラント学会
- 2018年 ドミニカ共和国 I D A インプラント学会
- 2019年 ニューヨーク I D A 学術大会
- 2019年 ラスベガス A A I D アメリカインプラント学会
- 2019年 ドミニカ共和国 I D A インプラント学会
- 他多数の国内セミナーに参加

所属学会

- A A I D アメリカ口腔インプラント学会
- I D I A 歯科インプラント学会
- 日本口腔インプラント学会
- 日本顎咬合学会
- 日本歯科麻酔学会
- 日本歯周病学会

歯学博士 渥美元康は、審美歯科治療の分野で豊富な経験を持ち、日本顎咬合学会認定医（かみ合わせ認定医）など多くの高度な資格と専門知識を有しています。

国内外での研修とセミナー参加を通じて、最新の技術や知識を常に更新し続けており、患者さんへの最高水準の治療提供に努めています。



令和6年3月 第3版発行

「素敵な口元に美しく再生する秘訣」

著者 渥美元康

定価 1100円（税込）

ナガオカデンタルクリニック

<https://www.izu418.com/>